

彦名通信



COMMUNICATION MAGAZINE NATIONAL INSTITUTE OF TECHNOLOGY (KOSEN), YONAGO COLLEGE



入学式の様子



高専祭（体育の部）の様子

Index

新年度特集

校長挨拶、入学式の様子	2
年度はじめにあたって、学生相談室のご案内	3
総合工学科4年目について	4

クラス便り

1年1組	5
1年2組	6
1年3組	7
1年4組	8
1年5組	9
留学生、4年次編入生、専攻科	10

新任教員の紹介	11
キャリア支援室より	12
学生会	13
学生の活躍	14
教務部からのご連絡、地域創生テクノセンターより、 広報室からのご連絡	15
卒業生は今 (vol. 32)	16

としょぶらり	17
--------	----

新入生を迎えて

校長 山口 利 幸

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。令和6年度入学式を4月5日に本校体育館で挙行之、本科1年生200名、第3学年外国人留学生1名、第4学年編入学生5名、専攻科学生22名、合計228名の学生が入学しました。昨年度の入学式は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、ご家族の代表者1名のみでしたが、本年度は、コロナ禍前のように人数制限なく実施することができました。新入生の皆さんが、本校での学修や活動を通じて大きく成長していくことを祈念するとともに楽しみにしています。

さて、私は、寺西恒宣前校長の後任として本年4月1日に着任しましたので、簡単に自己紹介します。出身は和歌山県で、和歌山高専電気工学科を昭和53年3月に卒業した後、豊橋技術科学大学に編入学し、シャープ株式会社での勤務を経て、昭和61年1月に母校和歌山高専の教員に採用されました。以来、和歌山高専に35年間勤務しました。令和3年4月に大分高専校長に着任し、今年4月に米子高専に異動になりました。高専での学生や教員、校長の経験を活かして、米子高専の更なる発展のために頑張りたいと思います。

本校は、本年度、創立60周年の節目の年を迎えました。本年4月に入学した本科1年生は61期生になります。高度経済成長期であった昭和30年代後半に、全国に高専が創設され、本校は最初の東京オリンピックが開催された昭和39年に開校しました。以来、多くの実践的で有為な卒業生を輩出し、社会の発展に貢献してきました。この創立60周年をお祝いする記念式典と植樹式を、4月18日に本校で行いました。鳥取県副知事や米子市長からも祝辞をいただき、盛大に開催でき、新聞でも特集を組んでいただきました。今回を節目として、更なる成長、発展を目指して、チャレンジしていく所存です。



校長式辞の様子



入学式の様子

年度はじめにあたって



教務主事 山本 英樹

コロナ感染症も5類となり、コロナ以前の学生活動も実施可能となりました。学生の皆さんが安心して、継続して学習が続けられるよう、最大限サポートをしていきますので、皆さんの

1年を充実したものにしてもらえればと思います。

今年度は、起業家育成教育の継続、国際交流活動の活性化を実施していく予定です。起業家の育成については、全学生が選択可能な起業家育成コースという選択科目を開設しています。また、国際交流の活性化として、海外研修のプログラムを案内する予定です。多くの学生の皆さんに積極的に参加していただきたいと思っています。それぞれ、参加を検討いただきますようお願いいたします。

最後に、今年度も電気料金、ガス料金等の高騰が続くと思われます。教室等での電灯、エアコンの使用においては、勉学の環境や体調管理が出来る環境の維持を優先していただきながらも、節電へのご協力もお願い致します。



学生主事 藤井 雄三

新型コロナウイルスから解放され、さまざまな行事が再開され、活発に活動されていることでしょう。さまざまな活動に際して、自分の行動に責任と自覚をもってくださ

い。自分の行動が他者に影響を及ぼすことを忘れないでください。社会生活は、他者との関わりで成り立っています。友人、学校、家庭、地域とどのように関わっていくかが、将来の皆さんには重要な経験となります。また、新学年になり、戸惑うこともあるでしょう。困った時は人に話をするだけでも変わってきます。家族や友人、先生以外にもいろんなところに相談するところがありますので、利用してください。

最後に自転車や自動車などの交通事故が増えています。慣れてきた頃が一番危険です。見通しの悪い場所など十分気をつけて、安全運転を心がけてください。自転車のヘルメット着用もお願いします。それでは楽しい学校生活を送ってください。

学生相談室のご案内

学生相談室長 新田 陽一

本校には、学生一人ひとりがよりよい高専生活を送れるようにサポートする学生相談室があります。学校生活や友人関係、勉強や進級の問題、就職・進学など将来について、また、ストレスからくる不眠・体調不良の悩みなど、各種の相談に応じています。本年度は以下のスタッフで業務にあたりますので、よろしくお願いいたします。

学生相談室長	新田 陽一	(電気電子部門)
学生相談室員	井上 学*	(情報システム部門) 土田 裕介*(化学・バイオ部門)
看護師	上本 菜々実	(保健室)
インテーカー	山田 香子	(学生相談室)
校外カウンセラー	福崎 俊貴	(臨床心理師・公認心理士：月2回程度・火曜日)
	竹崎 摩由	(臨床心理師・公認心理士：月3回程度・水曜日)
	伊藤 政志	(臨床心理師・公認心理士：月4回程度・金曜日)
	仲田 美紀	(臨床心理師・公認心理士：月1回程度・月曜日)
スクール・ソーシャル・ワーカー	廣江 仁	(月3回程度・木曜日)

*本年度より担当

保護者の皆様におかれましても、「子供の様子がおかしいが尋ねても話してくれない」場合など、相談室への相談をご検討ください。ご来校いただくのが難しい場合は、下記連絡先までお電話やお手紙をいただければ対応いたします。

【宛先】 〒683-8502 鳥取県米子市彦名町 4448 米子工業高等専門学校 学生相談室

※返信先のご住所とお名前をご記載ください。

【電話番号】 0859-24-5262 (直通) ※平日 11:15~17:00

総合工学科4年目について

総合工学科長 森田 一弘

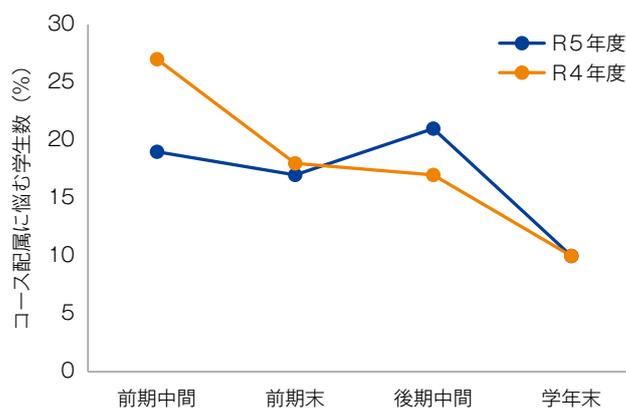
令和3年度に入学した総合工学科の第1期生は、この春から4年生となりました。各コースの専門科目の多くが選択科目として開講され、学生は自分の将来を見据えながら選択し、勉強や実験実習に励んでいます。さらに、4年生はPBL（Project Based Learning：課題解決型学習）の授業においてもチームリーダーとしての役割を任せられ、2年生の指導とPBLの実践に励んでいます。今年度は進路について考える時期にきていますが、PBLの実践は必ず自分自身のスキル向上につながっていくと思います。これからの技術開発や社会問題解決には自分の専門技術だけでなく他分野の技術者との協調や協力が欠かせません。そのためには、問題発見力や問題解決力に加え、リーダーシップやコミュニケーション能力が求められます。ぜひ、自分の専門分野だけにとどまらず、ものごとを広くとらえる視野を養って欲しいと思います。

令和6年度からはグローバルエンジニア育成事業の一環として一部の授業において英語資料や、英語による授業を実施しています。これからの技術者には複合分野を横断的に見られると同時に国際感覚を持って多様な国・文化の技術者と交流していく時代がきます。学生の将来に備えての教育を実践していきます。

2年生は4月に実施した最終志望アンケートに基づいて後期から各コースに配属され、専門分野の講義や実験実習がスタートします。志望コースの選択については、入学直後から定期試験毎に志望コース調査アンケートを実施してきました。そこから、一定割合の学生がコース選択について悩んでいることがアンケート結果から読み取れます。最初のアンケートでは2割以上の学生がコース選択に悩んでいることがわかります。しかし、学年末に近づくにつれて悩んでいる学生の割合は減少し、1割程度になります。入学時からコース選択に迷わない学生が約半数いる一方で、授業や実験の受講や将来の進路を考えてコース選択に悩んでいる学生がいます。1、2年生でコース選択に悩んでいる学生は、担任あるいは担任補佐を含む専門コースの先生に相談できるようにしていますので気軽に相談してください。自分の考えを先生に聞いてもらうことでコース選択へのアドバイスをもらえるかもしれません。ご家庭におかれましても志望コースについて話し合う場を持っていただけると学生にとっても大きな支援になると思います。保護者の方からのご相談にも応じておりますので、担任にご連絡いただければ幸いです。



PBLでグループワークに取り組んでいる学生



コース配属に悩んでいる学生数の割合（2年生）

1年1組

このクラスでたくさんの思い出を

横山 漣 吾

入学当初、僕は「友達ができるかな」「勉強についていけるかな」など不安な気持ちでいっぱいでした。入学式を終え、初めてクラスに入ってきたとき、すごく静かでクラスメイト全員が不安な表情をしていました。そのような雰囲気は数日続きました。しかし皆が、だんだん高専の生活に慣れてきて、また校内施設見学やグループ活動などを通して友達ができきました。入学式の1週間後くらいには、クラスがとてもにぎやかで、皆の笑顔がたくさん見えるようになりました。今では、最初の頃の雰囲気はまったくなく、何か困難があってもすぐ乗り越えられるようなクラスです。また優しい人、面白い人もたくさんいて、とても楽しいクラスです。クラスメイトの皆、1年間よろしく！そしてたくさんの思い出を作ろう！

米子高専に入学して

吾 郷 真 優

私の出身中学から米子高専に入った学生は今までおらず、何も分からなかったので、入学まではとても不安でした。特に寮生活への不安が一番大きかったです。初日から先輩方が寮での生活について詳しく教えてくださり、安心しました。寮は共同生活ということもあり、なかなか馴れないこともありましたが、他クラスの同級生とも仲良くなれたり、先輩方との交流の場もあり、毎日充実した日々を過ごせています。学校生活では、時間割や授業の進度が中学校までと大きく変わったため、初めは戸惑うことも多かったです。友達と教え合ったり、先生に聞いたりして、理解できるように頑張っています。勉強に励むのはもちろんですが、高専祭などの学校行事もクラスみんなで取り組み、楽しんでいきたいと思っています。

担任コメント

教養教育部門 渡 邊 健

「クラスの特徴」

初めはおとなしいクラスかと思っていましたが、だんだんにぎやかになってきました。男女ともユニークな人、面白い人が多いので、レクや行事で盛り上がる、楽しいクラスになりそうです。

「どんなクラスになってもらいたい」

授業や学校行事、さまざまな学級活動を通して、お互いをよく知り、助け合い高め合う仲間になってもらいたい。遊びだけでなく、勉強も一緒にできる友達がたくさんいる環境であってほしいと願っています。

「クラスの学生へのメッセージ」

高専はみなさんが社会に出るまでの学びと成長の場です。知識・技術を学ぶだけでなく、人間関係を大切にし、挨拶や礼儀・身だしなみといったマナーも身に付けて、立派な社会人になってください。



高専祭体育の部、クラス一丸となって取り組みました。



二人三脚、これから出走です。



修学ガイダンスでコース施設見学

1年2組

ほんま濃い

堀 優衣

この10haの空間は私たちに色々な気づきと学びを提供してくれます。高専はとても濃い学校です。授業は長いですが、一つひとつがどう役に立つか理解して学ぶのでとても楽しいです。人口密度も小規模校出身の人間からしたら衝撃でした。僕はこの3月に閉校した小学校、そして学年で生徒が9人しかいない中学校で過ごしたので、全校で学生が4桁もいることが、緊張するというよりもむしろ楽しみでした。実際クラスメートは何かしら尖っていて話していて飽きないです。そして一人ひとりが意見を持っているので話し合いなどがより深くなり、全く知らない世界を見ることがよくあります。中学校時代、先生が壁にぶつかったら一旦考えて違う方法を考えましようとおっしゃっていました。このクラスなら壁にぶつかった時、正面から壊して進めるくらいの勢いとアイデアが生まれると思います。この1年間が楽しみです。

体育祭の思い出

村田 梨緒

1年2組は授業中の話し合いで、みんながそれぞれ意見を出ことができ、お互いの考えに共感したり、高めあったりすることのできるクラスです。いつも話したり遊んだりするわけではないけれど、ちょうどよい距離感で過ごしていると思います。それを最も強く感じたのは体育祭です。同じ組の人が出る時、みんなまで応援していました。また、競技が終わった人に対して、ねぎらいの言葉がかけられている場面も見られました。終わった後の片付けでも、保健体育委員が中心となって、協力してテントの解体を行いました。この体育祭での経験から、人との関わり方を学び、さらなる成長を遂げたいと思います。ちなみに、私の個人的な体育祭での後悔は、クラスTシャツをつくれなかったことです。なので、文化祭では作れたらいいな、と思っています。

担任コメント

教養教育部門 遠藤 香菜子

「クラスの特徴」

和やかで、楽しいクラスです。授業担当の先生方からは、「授業中の問いかけや発言に対してとても反応がありますよ」と伺っています。また、個性が強かったり、驚くような特技をもっていたりする学生が多いですね。

「どんなクラスになってもらいたい」

お互いに協力し合い、サポートし合えるクラスになってほしいと思います。高専は授業のスピードも早く、課題も多いですし、学生に委ねられている部分が大きいです。気軽に相談し、助け合えるような関係を築いてほしいです。

「クラスの学生へのメッセージ」

高専で過ごす5年間はあっという間だと思います。卒業するときに「高専に来てよかった」と思えるよう、気になることにはどんどん挑戦してください。高校とは違ったおもしろさがある学校なので、それを味わってほしいです。



快晴の日に外で全員集合（この後、清掃活動をしました）



全員集合写真



1組とドッジボール合戦

1年3組

高専生活でがんばっていること

川上 侑香

私は毎日電車とバスを使い約2時間かけてこの米子高専に通っています。建築をまなびたくてこの学校を選びましたが、通学時間が長いことは不安な要素のひとつでした。ですが、入学してみると私よりもずっと長い時間をかけて通学している人や、寮に入って慣れない環境の中で勉学に励んでいる学生がたくさんいて、私も負けずに頑張ろうと思いました。今では通学にも慣れ、電車やバスの中で勉強をするなどして時間を有効に使えるよう行動しています。

高専に入学してから、「やらないといけない」という意識ではなく、「やっておこう」という意識で自然に予習・復習に取り組めるようになりました。周りに同じ目標をもった仲間がいることは勉強のモチベーションになります。これからもコツコツと努力を続けて自分自身の成長につなげていきたいです。

入学後の生活

壽美 昊玲

高専生活が始まり約1ヶ月がたちました。入学式、私の席の周りには仲の良い友達が居なくて、これからの1年しっかりやって行けるか不安でした。ですが、優しく話かけてくれた子、緊張してるけど話しかけてくれた子がいてくれたから、今こうしてクラスに馴染めていると思います。

私は中学の時から人前に立つことが苦手でしたが、3組には穏やかな雰囲気が漂い、みんなの優しさがあります。そのおかげで緊張がほぐれ、入学当初に高専でも学級役員をしたいと思っていた気持ちが後押しされたように感じ、学級委員をやる覚悟が決まりました。今はとても明るく笑いが絶えないクラスに変わってきています。これからは、他の行事や難しい授業で悩んだりすることはあると思いますが、みんなで協力しながら笑顔の絶えないクラスで学校生活を送りたいです。

担任コメント

教養教育部門 秋田 裕太

「クラスの特徴」

入学後1ヵ月、クラスらしさが垣間見えます。明るい挨拶、周りに気を配っている様子、誰か困っている時に大丈夫？と声をかける姿、色々です。クラスメイトの優しさをこの1年でどれほど見つけられるか楽しみですね。

「どんなクラスになってもらいたいか」

クラスメイトの優しさはご自身のものと異なるかもしれませんが。そんな1つ1つの優しさに気づくことができたなら、たくさんの優しさを持った人柄になれるはずですよ。何かの縁で3組の一員になったわけですからね。

「クラスの学生へのメッセージ」

優しいの「優」は「すぐれている」とも読まれます。将来の自分が困らないように、将来の自分が頑張ってきてよかったと思えるように、今の自分に優しい行動をとっててください。すると、優れた人になれると思います。



これから体育祭に出場するぞ！



体育祭後の優勝三二祝賀会



体育祭で優勝したよ🎉

新しい生活

岩坂航祐

米子高専に入学して1か月がたちました。入学式当日は全然友達がいなく新しいクラスに馴染めるか不安でした。しかし、新生活が始まって二週間もたないうちに周りで話せる人が増えていき最初にあった不安な気持ちがどこかにいきました。勉強の面では分からないところがあったらヒントを出してくれたり休憩時間のときは一緒に雑談をしたり学食に誘ってくれる友達ができ、とても優しく楽しいクラスだと思いました。

高専の勉強時間は大学と同じ90分、また、高専の授業スピードがはやく、内容が多くなり理解が追い付かなくなっていったと思います。教科によっては週ごとにある小テストや年に四回ある定期試験があるのでいつかする単元やその日にした単元などの予習、復習をできる限りして高専のスピードに追い付けるようにしたいです。

米子高専での目標

永田心結

高専に入学し1カ月半が経ちました。入学当初は知らない人ばかりでクラスの人と仲良くできるか不安でした。ですが、友達ができはじめ不安な気持ちはなくなり毎日楽しく学校生活を送っています。高専生は生徒ではなく学生という立場にいます。学生は自分で考え行動しなければいけません。だから、私は自分が学生であるという自覚をもって生活することを目標にしたいです。自分の行動に責任を持ったり、自分で判断したりすることを心掛けて生活していきたいと思います。そして、自分が進みたいコースに入れるように勉強に力を入れ頑張っていきたいです。中学校の時とは違い、生活面や学習面で慣れないことも沢山あると思うけどクラスの人達と協力していきたいと思います。楽しくて、最高のクラスだったと思えるような一年にしたいです。

担任コメント

教養教育部門 青砥正彦

「クラスの特徴」

たこ焼きパーティーをしました。限られた時間の中、よく準備をしてくれました。包丁がなく手でタコをちぎる班、ボールや混ぜるものがない班、油もソースもない班、しっかりと準備をして頼りになる班、どの班もとても個性あふれていました。最後はみんなで協力して助け合い、とても個性的なたこ焼きができました。

「どんなクラスになってもらいたいか」

自分たちで考えて行動する自立した学生になってもらいたいです。いろんな個性の人がいますが、それぞれの個性を認め合い、困っている人がいれば助け合える、そんな優しさを持ったクラスになってほしいです。

「クラスの学生へのメッセージ」

皆さんのことは大人として扱っています。みなさんもそれに応えるよう、大人としての行動ができるよう心掛けてください。みなさんが、このクラスでよかった、と思えるようなクラスにみんなですていしましょう。



体育祭



たこ焼き

高専に対するイメージの変化

田中 楓人

高専に入学する前と入学後で、私の高専に対するイメージは大きく変わりました。

入学前は「寮生活をしてみたい」や「国立に入りたい」、「理系の学校に進学したい」などの浅い考えしか持っていませんでした。それが悪いわけではないと思いますが、高専に入って具体的にこれがしたいとか何かを目標にしているなどの考えは入学前にはほとんどありませんでした。

しかし、入学後のオリエンテーションに参加して高専について詳しく話をうかがう中で、高専というのは夢にどれだけ近づくか、好きなことをどれだけ突き詰めることができるか、そこに重点を置いている学校だと強く感じました。

夢を持っている人、かなえない何かがある人は高専に向いていると思います。また、夢がない人でも高専では新たな経験や発見が多く、先生や先輩との距離が近いので他の学校よりも楽しいと感ずることができる場所だと思いました。

不安だった高専の生活

大村 あかね

「普通の高校」とは違うことを実感しながら、期待と不安を胸に校門をくぐった日からおよそ一か月半。私が入学してから流れた月日は、一日一日は長かったけれどとても早く過ぎていったと今は感じます。

最初のころの私は学校にも寮にも慣れておらず、学校が始まる前の休日は不安で何も手が付けられませんでした。学校が始まった一週目、修学ガイダンスを通して一年間のシラバス、これからの学習方法など様々なことを知れたことはとても有意義な時間になりました。今まであった不安は消えていました。

二週目から本格的に授業に入り、今までの小学校、中学校とは違う学習は難しいながらも楽しく、今まで知らなかったことを知れることは私にとってとても面白いです。

まだ、一か月半しか生活していませんが、これからさらに様々な学習ができることをとても楽しみにしています。

担任コメント

教養教育部門 大庭 経示

「クラスの特徴」

はじめはおとなしい学生が多いのかと感じましたが、今は少しずつ個性が発揮されてうちとけてきたようです。挨拶のできる素直で明るいクラスです。課題なども協力してほとんど提出できているようです。

「どんなクラスになってもらいたいか」

他人への思いやりを忘れず、みんなが個性をのびのびと発揮しつつ、みんながそれを受け入れている、安心できる温かいクラスになって欲しいと思います。試験や学校行事では個性や長所を集結して協力できると素敵ですね。

「クラスの学生へのメッセージ」

全員が個性を十分に発揮できたときにクラス全体の力は大きくなると思います。体育祭ではみんな声をかけあって協力して活躍できましたね。周りを信頼して思う存分に個性を発揮してください。



リレー勝利



集合写真



掃除前

留学生

米子高専で学び始めて

3 J アヌ

こんにちは。アヌと申します。モンゴルの首都のウランバートルから来ました。今年は20歳になります。去年、日本に来て、1年間日本語を勉強しました。今年、米子高専の3 J クラスに入学して、情報システムを勉強しています。米子高専の学生たちがとても優しく、クラスメートたちが助けてくれたりして、毎日楽しい生活を送っています。また、先生方や職員方は分からないこととか、困っていることがあったら、いつも丁寧に教えてくださるので、とても感謝しています。



近影

4年次編入学生

4C 岸 朝海

岡山県立岡山工業高等学校から総合工学科化学・バイオコースに編入してきました岸朝海です。高校では、化学などの専門のことにについて学び実験を行ってきました。私は高校で学んできたことを活かしながら専門的な知識や技術をもっと身に付けたいと思ったので高専編入という進路を選択しました。学ぶ内容が難しくなり大変ですが先生方やクラスの人に教えてもらいながら勉強などを頑張っていきたいと思います。2年間よろしくお願いします。

専攻科

S1 大橋 智 充 (生産システム工学専攻)

米子高専本科では、企業との共同研究として実際の現場で他では味わえないような経験をさせていただきました。講義で得た知識が実際に使われており、理論だけでなく実践的なスキルも学ぶことができました。また、他の研究室と協力することもありチームワークや問題解決能力を磨くことができました。専攻科ではモータのトルク制御に関する研究を行う予定です。2年間という短い間ですが、有意義な時間を過ごしていきたいと思います。

S1 後 本 真羽呂 (物質工学専攻)

光陰矢の如しとはよく言ったもので、入学式を終え、目まぐるしい日々を過ごしております。専攻科は、高専5年間の教育課程に続いて設けられた、2年制の過程です。そのため、これまでと変わらない環境での勉学に努められることが最大の強みです。授業では、本科からさらに進んだ内容が用意されています。研究だけでなく、その根底にある理論を深く理解し、進学にも就職にも対応できる柔軟な人材となるべく、精進したいと思います。

S1 松 原 ひな子 (建築学専攻)

専攻科では、難関の国家資格である1級建築士の資格修得に向けて勉学に励んでいます。また、本科の引き継ぎで、特別研究をあと2年間することが出来るので、専門性をさらに高めていきたいです。また本研究では、地域のまちづくりに関わることをしているため、地域に貢献出来るように頑張っていきたいです。

最後に、専攻科の学生生活は、就活進学活動など忙しい日々になりそうですが、友人と切磋琢磨するとともに、学校生活を楽しくしていきたいです。



令和6年度 専攻科 1年

新任教員の紹介

教養教育部門（社会） 原 遼 平

今年度より教養教育部門に着任しました、原遼平と申します。地理と経営学概論Ⅰ・Ⅱ、人文社会特論の一部を担当しております。京都府長岡京市出身で函館、つくばを経て米子に来ました。専門は歴史地理学で、明治時代の旅行文化について研究しています。地理は実際に地域を見ることで、人々の礎を明らかにする学問です。米子を取り巻く山陰地域は古くからの歴史があり、そこで人々によって紡がれた物語は地域の姿からも多く読み取れます。地域を知ることの面白さを伝えていけるように頑張りますので、何卒よろしく願いいたします。



教養教育部門（国語） 辻 秀 平

国語科や人文社会科学系の科目を担当する辻秀平です。近現代日本文学・出版文化史を専門にしています。授業では、私たちが普段使う「言葉」が秘める様々な可能性について、皆さんと一緒に考えていきたいです。私は九州の長崎生まれですが、これまで佐賀、奈良、大阪と移り住んできました。古代からの歴史豊かな土地で過ごした期間が長く、古代史や文化財にも興味があります。山陰は歴史ある遺跡や社寺、美しい自然などが盛り沢山。どこに遊びに行こうかと日頃楽しく考えています。皆さんの山陰のおすすめを、ぜひ教えてください！



教養教育部門（英語） 佐々木 恭 子

今年度、育休代替の英語教員として採用されました。私は米子市出身で、普通科高校を卒業後京都の美大を中退、広島大学を卒業してアメリカに留学し、20年間鳥取県の県立高校で教諭として働きました。在職中に神戸大学大学院国際文化学研究所の修士課程を修了し、昨年県立高校の教諭の職を辞しました。挑戦しては挫折する経験を多くしましたが、美大退学の方角転換以来、言語や言語教育への関心だけは変わらず続いています。このような経験や専門の言語学・応用言語学の知識を通じて、学生の皆さんに何か有用なことを伝えられたら嬉しいです。



建築デザイン部門 藤 原 圭 康

建築デザイン部門に着任しました、藤原圭康です。授業は構造力学を担当しています。本校の建築学科を卒業後に専攻科へ進学し、その後広島大学大学院で修士課程2年間を送り、修了後は建築施工管理の仕事に携わりました。施工者という立場で設計監理や協力会社などの様々な職種の方と一緒に働く機会をいただき、多くの人が役割を分担し協力していることや、日常のコミュニケーションを大事にされていることを強く感じました。その経験を活かし、建築に携わる魅力と楽しさを、授業や研究を通じて皆さんに伝えていけるよう頑張ります。



教養教育部門（物理） 姉 川 尊 徳

教養教育部門に着任しました、姉川尊徳（あねがわ たかのり）と申します。出身は長崎県佐世保市で、その後大阪に10年近く住んでおりました。米子に来るのは初めてですが、住みやすく、海もあり山もあり、非常にいいところだなと思いつつながら毎日過ごしております。授業は特に低学年向けの物理を担当しています。専門は素粒子理論、特に量子重力理論で、ブラックホールなど重力が非常に強くはたらく世界の理論を研究しています。理論物理全般に興味があるという方は、気軽に話を聞きに来ていただければと思います。これからどうかよろしく願いいたします。



キャリア支援室

キャリア支援室長 大塚 宏一

キャリア支援室は工場見学、就業体験（インターンシップ）、進路研究セミナーなどの機会を提供し、学生一人ひとりが自分のキャリアについて自律的に考え、選択していけるように、また望ましい職業観、勤労観を持つことができるように本校学生への支援を行なっています。就職・採用活動においては2024年度以降から一定の条件を満たしたインターンシップで取得した学生情報を企業が採用に活用しても良いことになっており、インターンシップでの学びや取り組みがさらに大切になってきています。キャリア支援室では、インターンシップ参加学生向けのセミナーの案内なども積極的に行なっています。

米子高専のキャリア支援

米子高専のキャリア支援は、1年生の地元企業見学、2年生の地域学（米子高専振興協力会企業見学）、3年生の工場見学旅行（県外企業見学）、4年生以上でのインターンシップ（就業体験）や進路研究セミナーの開催など、学年進行に応じて自分の生き方を設計する力を身につけるための体制がとられています。

キャリア支援体制

専攻科 2年	進路指導	資格取得支援
専攻科 1年	インターンシップ（10日間）	
本科 5年	共同研究等（特別研究指導）	
本科 4年	進路指導、共同研究等（卒研）、講演会など	
本科 4年	校外実習（インターンシップ5日間）	
本科 4年	進路研究セミナー（企業・大学合同説明会）など	
本科 3年	工場見学旅行（県外）など	
本科 2年	校外研修旅行（地域学：山陰の企業見学）など	
本科 1年	地元企業見学など	

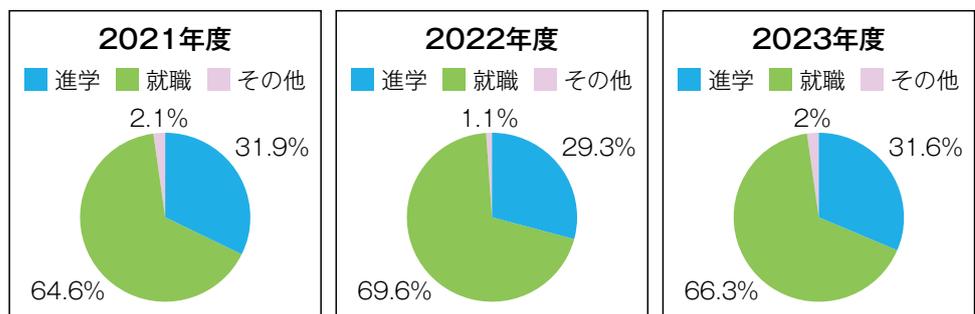
本科求人倍率の推移

求人倍率 23 倍と好調を維持しています。



進学・就職の割合（5年生）

2023年度の大学・専攻科進学率は31.6%でした。



学生会の活動紹介

学生会長 4C 丸山未夏

私たち学生会は、体育祭や高専祭、球技大会などの学校行事の企画・運営、文化発表会の開催などさまざまな活動を行っています。昨年度の高専祭では保護者だけでなく、地域の方々や外部の方のご来場も可能となり、活気に溢れたものとなりました。また、5月には天候にも恵まれ、昨年度に引き続き体育祭を行うことができました。このように、高専祭や体育祭を無事に開催することができたのは学生会員をはじめとする学生のみなさんと教職員、地域の方々のご協力のおかげであると感じています。

今年度は米子高専創立60周年の節目の年ということで、ますます米子高専を発展させていきたいと考えております。発展させるための第1歩として、これまで以上に学生のみなさんの意見・要望を取り入れられるような学校づくりを目指しています。そのために、校内に意見箱を設置しようと思っています。設置することで学生のみなさんが意見を伝える場を明確にすることができ、たくさんの意見・要望を集めることができると考えています。まだ計画段階で、すぐには実行できませんが、必ず実行し、よりよい学校づくりに貢献したいです。これからも学生会一丸となって学生会活動に取り組んでいきます。



学生会員の集合写真（昨年度の高専祭片付けの際に撮影）



今年度の体育祭の玉入れ



球技大会にて激戦のバスケ

学生の活躍

電気情報工学科と生産システム工学専攻の学生が高専ワイヤレステックコンテスト 2023 でワイヤレスバリュー賞を受賞

総合工学科（電気電子部門） 田中博美

3月1日にAP日本橋で開催されたWiCON2023（高専ワイヤレステックコンテスト2023）表彰審査本選大会（主催：一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会）においてS2矢田ほのかさん、米田駿一くん、S1都田睦陽くん、5E山根健太くん、松本颯人くんの発表がワイヤレスバリュー賞に選ばれました。発表名は“追尾型ドローンとLPWA通信による有害鳥類撃退システムの開発”で、AI×ドローン制御の技術とLPWA通信を組み合わせ、農作物に被害を与える有害鳥類を撃退するという内容でした。

審査は口頭発表とデモンストレーションの両方で行われました。口頭発表では審査委員の方から「商品化に近い、非常に良い作品です。ビジネスモデルもよく考えられています。」と称賛を受けました。

また、デモンストレーションでは審査委員から多くの質問や有益なコメントを受けました。そして、技術的な内容に加えて製品化の可能性が高いと評価され、ワイヤレスバリュー賞に選ばれました。



表彰式の様子



デモンストレーション会場にて

【放送部】令和5年度高専機構学生表彰理事長特別表彰受賞！

放送部部长 4J 富谷彩愛

私たち放送部は、令和5年度高専機構学生表彰理事長特別表彰を受賞しました。自分たちが精力的に活動した結果をこのような形で評価していただき、部員一同とても光栄に思っております。

昨年度は、「第70回NHK杯全国高校放送コンテスト」創作テレビドラマ部門での初優勝（全国高専としても、鳥取県勢としても初）を皮切りに、「全米高校映画祭AAHSFF2023」への日本代表としての出場、「高校生のためのeiga worldcup2023」での5度目となる最優秀作品賞受賞、ながおか映画祭グランプリと多くの成果を残すことができました。いずれの大会の作品も、目には見えない生きづらさを描いたものです。私たちの作品がだれかの支えになれるという思いが実ればと思います。昨年度の活動で得た経験をもとに、米子高専や放送部をより多くの人に知っていただけるよう今後も意欲的な活動を続けてまいります。どうぞ応援のほどよろしく願いいたします。

なお、毎月第1日曜日22時からラジオ番組「米子高専エンジン×ピープル」をDARAZ FMで放送することで、米子高専のトピックを紹介し、PRしています。是非とも聞いていただけたらと思います。



東京で開催された表彰式



表彰式でスピーチする富谷部長



Nコン優勝作品『果歩は覚えられない』撮影風景

電子学生証アプリ（がプリ!／MyiD）について

本校ではスマートフォンを利用した「電子学生証アプリ（がプリ!／MyiD）」を導入しています。

- ・スマートフォンを変更した場合について
アプリを再設定する必要があります。認証コードが不明な場合は学生課教務係窓口へお尋ねください。
- ・学生証の写真登録について
登録がまだの方は登録をお願いします。登録手順がわからない場合は学生課教務係へお尋ねください。
- ・朝の安否確認に関する MyiD からの保護者宛通知について

学生は MyiD で授業の出席登録や学校への欠席・遅刻の連絡を行っていますが、これは毎朝の安否確認を兼ねております。朝 10 時 40 分までに安否確認ができない学生について、保護者様宛にその旨の通知メールを配信するようしております。本校としましては、学生の安心・安全な学修環境をご家庭と連携して築いていきたいと考えております。登録を希望される保護者の方は、以下の QR コードよりメールアドレスの登録をお願いいたします。

MyiD メールアドレス登録フォーム



地域創生テクノセンター

地域創生テクノセンター長 玉井孝幸

令和 6 年度より、テクノセンターは、「地域創生テクノセンター」と改称しました。これまでの「地域共同テクノセンター」と「医工連携推進センター」を統合し、工学の分野にとどまらない複合した分野を対象とし、地域の団体、企業と共に産学官の交流や連携活動を通じ、教育・研究活動及び地域貢献の活性化に務めています。

また、200 社を超える振興協会の会員企業により学生に向けて、全国大会への補助、「企業ガイドブック」の配布、2 年生の科目である「地域学」で企業見学をさせていただくなど、大きな協力を頂いています。

広報室からのご連絡

広報室長 荒木菜見子

①米子高専公式ホームページ

米子高専が配信する情報は公式ホームページの Information をご覧ください。学生・教職員の活躍や入試情報もこちらで配信しております。

②米子高専 知的セミナー

米子高専の教職員の教育や研究に関わる知的なトピックを紹介する 13 分の番組です。地上波・中海チャンネル 121 および CATV・332 チャンネル（県民チャンネル）で放送されています。また、鳥取県民チャンネルコンテンツ協議会の HP や Youtube で視聴することができます。学生さんが番組内で喋ることもありますので、ぜひご覧ください。

米子高専 HP



知的セミナー



彦名通信





長谷川 真梨菜 (はせがわ まりな)

2018年3月 米子高専 物質工学科 卒業

2020年3月 米子高専 物質工学専攻 修了

2020年4月 富士フイルムビジネスエキスパート株式会社 入社

■高専時代

私は2013年4月に米子高専(物質工学科)に入学しました。物質工学科を希望したのは、田舎育ちでもともと生き物が大好きだったというのがありますが、一番大きなきっかけは私が中学3年生の時に父ががんを患ったことです。がん細胞について調べるうちに細胞工学に興味を持ち、4年生から細胞工学の授業が選択できる物質工学科を受験しました。(父は無事退院して今も元気に暮らしています)

入学してから気付いたことがありました。それは「科学は好きだけど化学は苦手だった」ということです。今思えば、物質工学科なのに化学が苦手というのはかなり致命的でしたが、それでも生物系科目をモチベーションにして(そして先生・友人の力を借りて)なんとか5年生まで進級しました。私が高専で得たものは粘り強さとメンタルの強さです。

5年生では生物系の研究室(村田研究室)に所属し、さらに専攻科(物質工学専攻)に進学し、出芽酵母の寿命に関する研究を計3年間行いました。

■研究内容概略

本科での卒業研究・専攻科での特別研究は「梨幼果抽出成分が出芽酵母の寿命延長およびその関連遺伝子の発現に及ぼす影響」です。タイトルだけだと理解するのが難しいですよ。

梨の栽培には「摘果(てきか)」という、一つの実を大きく育てるために幼果(梨の赤ちゃん)を間引く工程があります。この摘果のときに棄てられてしまう梨幼果を農家の方から譲り受け、成分を抽出します。この幼果抽出成分を出芽酵母に与えると、酵母の寿命が延びるのです。その原理を探り細胞寿命に影響を与える要素とはいったい何か?を調べるというのが私の研究でした。

研究では酵母の寿命に影響を及ぼしていそうな遺伝子をいくつか特定し、学会発表も経験しました。培養・遺伝子操作で様々な実験作業を経験することができ、学んだ手技は今の仕事にも大いに活かすことができています。

■現在の仕事内容

現在は、富士フイルムの研究所で細胞培養や遺伝子解析を主とした抗体医薬品の研究開発に携わっています。細胞や遺伝子を用いた生化学実験は、温度などのちょっとした環境変化の影響を受けやすく、再現性のある実験データを提供することはとても大変なのですが、そのためのプロセス改善は面白く、やりがいもあり毎日が充実しています。また、組織として安定した実験品質を提供できるように新人の技術教育も担っています。

高専生の皆さんにとっては、化学分野全体から見ると生物系分野はマイナーな学問かもしれませんが、究めていくと生化学、細胞工学、タンパク質工学や遺伝子工学などに細分化され、たくさんの研究者によって日進月歩で技術が進んでいます。私は中学で細胞に興味を持ち、高専での研究経験が今の仕事につながりました。生物系分野研究の最前線に立ち会えることに誇りと魅力を感じています。

皆さんもぜひ学生の間に様々なことにチャレンジして、体験・経験してみてください。そして大人になっても全力で打ち込めるような、興味のある分野を見つけられることを願っています。



※記事において、学科等の名称をアルファベットで表記している箇所があります。

M…機械工学科(機械システムコース)、E…電気情報工学科(電気電子コース)、D…電子制御工学科、J…情報システムコース、C…物質工学科(化学・バイオコース)、A…建築学科(建築デザインコース)、G…教養教育部門、S…専攻科
例えば、「3M」は3年機械システムコースの学生を表しています。

発行：米子高専広報室 〒683-8502 鳥取県米子市彦名町4448 TEL: 0859-24-5000 FAX: 0859-24-5009

ホームページ：https://www.yonago-k.ac.jp/ PDF印刷：勝美印刷株式会社



ISSN 1344 - 5634

米子高専図書館報
第120号令和6(2024)年6月 発行
米子工業高等専門学校図書館

図書館の業務

図書館では、図書カウンター業務（貸出および返却手続き）のほか、各種統計・調査・照会、図書発注、図書・雑誌の受入および登録、蔵書点検、文献複写依頼の受付、卒業研究（学術情報リポジトリ）、電子ジャーナル、研究報告の取りまとめなどの業務を行なっています。

また、読書感想文コンクールやビブリオバトル、ブックハンティングなどの各種イベントも主催しています。

図書館スタッフ紹介

図書館カウンターでの貸出・返却や書架の整理などを担当しているスタッフを紹介します。図書や雑誌を借りたり、本の所在を尋ねたりする際、気軽に声をかけてください。

学術情報係



小田

福原



田村

小田千晶

皆さん、こんにちは。図書館司書の小田千晶です。

この原稿を書いているのは4月なのですが、気温はすでに20℃以上を記録し、桜も愛でる間もなく散ってしまいました。年々春が短くなっているような気がしてなりません。

今回は、春夏秋冬の「かみさま」たちが織りなす、恋と闘いの物語を紹介します。

『春夏秋冬代行者：春の舞上・下』 著：暁佳奈 出版：KADOKAWA

神に選ばれた4人の「四季の代行者」によって四季がもたらされる世界。10年前の襲撃事件で行方不明になっ

図書館スタッフ紹介

ていた、「春の代行者」花葉雛菊が帰還した。

大和に10年振りの春が訪れる中、「冬の代行者」寒椿狼星は彼女との再会を願う。しかし、代行者の能力を悪用せんとする勢力が、再び動き始めて――。

福原佳奈

突然ですが、学生の皆さんは読書感想文を書く事は、得意ですか？私は、とても苦手でした。あらすじばかり書いて、原稿用紙が埋まりません。でも、年を重ねるにつれ、自分の思いを文字に書いて、人に伝える機会は少なくなりました。今、思えば、誰かに、思いを伝え読んでもらえる『読書感想文』は、尊いなと思います。是非、図書館の本を気軽に、読みに来て下さい。

田村貴子

4月から放課後の図書館でお待ちしています。

知りたい事はインターネットで簡単に何でも検索できますが、もっと深く・広く知りたい時に私は本を手に取ります。簡単、便利には無い気づきや発見に出会えることが魅力です。

学生の皆さんが本の貸出しや自習のために来館される姿は、私の学生生活には無かったのでとても新鮮です。皆さんが快適に、そしてお待たせすることなく対応できるよう励みます。

よろしく申し上げます。

専攻科生

専攻科の学生にもカウンター業務（図書の貸出および返却）や書架整理を手伝ってもらっています。高専のことを良く知っている先輩ですので、気軽に声をかけ、いろいろ相談してみてください。

- S 2 米田駿一
- S 2 山瀬優日
- S 2 矢田ほのか
- S 1 伊藤直人
- S 1 松村有紀

教職員

今年度、図書館の運営に当たる教職員です。よろしく申し上げます。

図書館長 大塚宏一（機械システム部門）

副館長 赤山幸太郎（教養教育部門）

学生課長補佐 小村浩史（学術情報係長併任）

図書委員の紹介

今年度の図書委員を紹介します。4月26日に第1回図書委員会を開催して、委員長、副委員長を選出し、今年度の活動計画について話し合いました。委員長と副委員長の抱負、おすすめの本の紹介などを掲載します。

図書委員一覧

年・組	1	2	3	4	5
1	久保寿人	上山奎自	松本康快	中西梨瑛	長谷日和理
2	高野悠	○豊田彩陽	秋田功太郎	吉井理暁	秦圭太郎
年・コース	M	E	J	C	A
3	山崎就真	竹歳湊人	田中拓弥	福住陽路	足岡夢菜
4	◎岩坂匠人	坂口宗	江谷空	谷村史歩	三浦和花
年・学科4	M	E	D	C	A
5	佐々木宗也	福坂新	片尾祐行	藤原理央奈	浦林丈人

◎：委員長、○副委員長

図書委員長、副委員長の挨拶

図書委員長 岩坂匠人

今年度の図書委員長を務めさせていただきます、4年機械システムコースの岩坂匠人です。初めての委員会で初めての委員長となり、やや不安ではありますが、図書館をみんなが楽しく利用することができる環境や企画を作っていきたいです。

さて、今回私がお勧めいたします本は、宮島未奈 著「成瀬は天下を取りに行く」です。この本は、2024年の本屋大賞を受賞していて、タイトルだけでも知っている人もいないのでしょうか。滋賀県大津市を舞台に、主人公である成瀬あかりが、ぶっ飛んだ発想と共に成長していく姿が、読者に爽快感を与える一冊となっております。ぜひ一度手に取り、この本の面白さが皆さんに伝わればいいなと思っております。

副委員長 豊田彩陽

図書委員の副委員長になりました。豊田彩陽です。至らぬ部分が多い身ですが多くの方が本に興味を持ってもらえるよう、頑張ります。

私のおすすめの小説は知念実希人さんの「天久鷹央シリーズ」、雨穴さんの「変な家」、パウロ・コエーリョさんの「アルケミスト」、西尾維新先生の「物語シリーズ」です。わかりやすいあらすじを知りたいひとはYouTubeやTikTokで本紹介の活動を行っている【けんご小説紹介】さんの動画を見るのがおすすめです。本に魅せられて人生が変わる人もいますので、この文章や私達の活動で読書にふれるきっかけになれば嬉しいです。

1年生への図書館オリエンテーション

4月16日、23日、5月7日のロングホームルーム（LHR）の時間を使って、1年生への図書館オリエンテーションを行いました。1年生各クラスが図書館を訪問して館内見学を行い、電子学生証を使った本の貸し出し方法の体験を兼ねて、実際に本を借りてみました。



図書館業務・活動記録

4月5日（金）	編入生・留学生への図書館ガイダンス・オリエンテーション	エンターション
4月12日（金）	1年生への図書館ガイダンス（修学ガイダンス）	4月26日（金） 図書委員会（第1回）
4月16日（火）	1年生（1-1、1-3）の図書館オリエンテーション	5月7日（火） 1年生（1-2、1-4）の図書館オリエンテーション
4月23日（火）	1年生（1-5）の図書館オリ	6月1日（土）・2日（日）・8日（土）・9日（日） 前期中間試験時の開館